



No.191

2025.4月



CONTENTS

3月定例会

- 議案を審議 3~4
第1回臨時会を開催／第1回定例会を開催
- 新年度予算審議 5~8
- 一般質問 10~17
7人が登壇・町長に見解を求める
- 委員会レポート 18
- 決算特別委員会指摘事項 19
町長はこう答えた
- 元気なグループ紹介 20
「田中・高原自治会有志グループ」担当 古市 義秋

三木町 議会だより



町のアリーナから世界をめざせ！！

<http://www.town.miki.lg.jp/>



▲三木中学校屋内運動場

各会計の当初予算

一般会計		129億9,900万円
国民健康保険事業特別会計		30億6,630万円
介護保険事業特別会計		31億3,070万円
介護予防サービス事業特別会計		2,980万円
後期高齢者医療事業特別会計		5億2,160万円
下水道 事業会計	収益的収入	5億9,356万円
	収益的支出	5億9,356万円
	資本的収入	7億6,032万円
	資本的支出	8億7,736万円

債務負担行為

就学前施設再編整備事業	7億9,366万円
国営かんがい排水事業	5,296万円
香川用水施設緊急対策事業	1,020万円
高齢者保健福祉計画策定事業	376万円

主な事業（一般会計）

自治体情報システム標準化事業	1億3,455万円
ふるさと思いやり寄附金事業	1億1,438万円
白山文化センター施設整備事業	8,081万円
就学前施設再編整備事業	5億1,573万円
妊婦のための支援給付金事業	1,963万円
虹の滝キャンプ場施設整備事業	1億2,750万円
三木中学校施設整備事業	1億7,208万円

3月 定例会

幼稚園と保育所の統廃合

令和9年開園予定こども園建設予算可決

令和7年3月議会は、5日から21日までの17日間で開催され、新年度当初予算など24議案を可決した。一般会計は、4人の討論を経て可決され、前年度比6.3%減の129億9900万円。

主な事業は就学前施設（認定こども園）再編整備、白山文化センターの建て替え、虹の滝キャンプ場施設整備、三木中学校屋内運動場空調設備整備。新規事業は、地方就職学生支援事業、妊婦のための支援給付金事業、自主防災活動補助金など。

一般質問には7人が登壇し、財政計画などについて執行部の考えをたじた。また、2月4日には第1回臨時会が開催され、工事請負契約や専決処分などを可決・承認した。

議案を審議

第1回臨時会

令和7年2月4日

工事請負契約の締結

令和6年度庁舎耐震等 改修工事

契約金額

1億5620万円

落札者 (株) 合田工務店

専決処分の承認

一般会計補正予算

国の総合経済対策を踏まえ

た、低所得世帯及び低所得子
育て世帯に対しての給付事業

(1) 非課税世帯

一世帯あたり3万円給付

(2) 非課税子育て世帯

18歳以下の子どもに対し、

一人あたり2万円給付

財源は、全額国支出金、約

1億506万円を追加補正

第1回定例会

専決処分の報告

井上公園（仮称）整備工事 請負変更契約

変更金額 約116万円増

契約者 山政建設（株）

B & G 海洋センターLED 化及び体育館特定天井改修 工事請負変更契約

変更金額 約285万円減

契約者（株） 橘一吉工務店



▲ B & G 海洋センター

付託議案審議

- ・ 町の条例等の公布をホームページ上で行う等条例の一部改正
- ・ 刑法等の改正に伴う条例の一部改正
- ・ マイナンバーカードの基本情報等をスマホに搭載可能になる法改正に伴う条例の一部改正
- ・ 職員給与改定等のための条例の一部改正
- ・ 育児・介護を両立しやすく措置する法改正に伴う関係条例整備
- ・ 町道等の路面復旧に係る経費の負担金徴収に関する条例の一部改正

三木町犯罪被害者等支援 条例の制定

国は、平成16年に犯罪被害者等を支援することを目的に、犯罪被害者等基本法を制定し、各種支援施策の推進に努めている。香川県は令和3年4月

に香川県犯罪被害者等支援条例を制定し、見舞金の給付などの支援を行っている。さらに、令和5年6月に開催された犯罪被害者等施策推進会議において、犯罪被害者等施策の一層の推進を図ることが決定された。

本町は住民健康課に対応窓口を設置し、警察など関係機関と連携しているが、より一層の支援の充実を図るため、新たな条例を制定する。

問 市原委員

心理的な問題を含め、費用などを市町村レベルで支援する場合、専門的な知識を持った人材が必要ではないか。

答 町長

犯罪被害者等の支援については、専門的な知識を持っている方が必要であると認識している。高松東警察署や犯罪支援センターの指導のもと連携しながら対応していく。

井上すこやか公園の設置及び管理に関する条例の制定

旧平井幼稚園井上分園跡地に、災害時の避難場所及び防災機能を備えた拠点、また、住民の交流の促進及び健康の増進を図ることを目的に公園を整備。

それに伴い、設置及び管理に関する条例を制定し、施行期日は令和7年4月1日で、同時に供用開始する。

施設の名称を「井上すこやか公園」とし、幼児向けの大規模複合遊具や高齢者の運動不足解消などを目的とした健康遊具のほか、災害備蓄品等の保管機能を持つ防災収納ベンチやかまどベンチを設置する。

補正予算の審議

一般会計

決算見込みによる事業費の増減や財源補正など、213

事業に及ぶ補正予算案を審議した。就学前施設再編整備事業を減額するなど、補正後の総額を約3億6260万円減の、約152億2005万円となる一般会計補正予算を可決した。

問 溝淵議員

会計年度任用職員（幼稚園給食調理員）の雇用ができなかったが、業務に支障はなかったのか。

答 教育総務課長

町が雇用している三木中学校と幼稚園の正規職員、会計年度職員は兼務としており、相互の協力体制のもと業務を行っている。今後も雇用の確保に努めていく。

問 市原議員

おためし協力隊は、町の魅力を発見してもらうためには、良い試みだと思うが、なぜ応募がなかったのか。
今後の体制はどうなるのか。

答 農林課長

今回、募集期間が短かった。地元より、引き続き事業に取り組んでほしいとの要望があり、今後計画していく。

国民健康保険事業特別会計

16事業を審議し、補正後の総額を約1億2653万円減の、約30億6854万円となる補正予算案を可決した。

問 溝淵議員

会計年度任用職員（保健師）の雇用がなかったが、今後、人材不足をどのように補っていくのか。

答 住民健康課長

令和7年度は、正規職員の保健師1名と管理栄養士の2名で特定検診等の事業を行う予定。

介護保険事業特別会計

25事業を審議し、補正後の

総額を約6142万円減の、約31億8752万円となる補正予算案を可決した。

介護予防サービス事業特別会計

決算見込みによる事業費の追加で1事業を審議し、補正後の総額を約43万円増の、約2928万円となる補正予算案を可決した。

後期高齢者医療事業特別会計

3事業を審議し、補正後の総額を約2662万円増の、約4億9202万円となる補正予算案を可決した。

下水道事業会計

収益的支出及び資本的支出についての10事業を審議し、補正後の収益的支出を約2998万円減の約5億853万円、資本的支出を約357万円増の約7億6128万円となる補正予算案を可決した。

新年度予算の審議

令和7年度の一般会計及び特別会計等について、多くの予算項目に対し、内容確認や政策提言を行った。

なお、一般会計予算では審議項目を前半・後半に分けて審議した。

一般会計

問 鎌倉議員

新規で、自主防災組織活動費補助金が112万円計上されているが、詳細は。

答 総務課長

自主的な訓練等を行う場合の補助で、100世帯までの組織に2万円、100世帯超は3万円を検討中。

問 中川議員

運転免許自主返納者への助成費115万円の詳細を。

答 総務課長

返納一年以内を対象に、一人1万円分のタクシーチケットか、コミュニティバスの無料乗車券のどちらかの選択で、助成は一回のみ。

問 友保議員

洪水ハザードマップの作成委託料が1287万円。内容は。

答 総務課長

小規模河川等を含んだ浸水想定区域、避難所等を地図上に図示し、ため池、土砂災害ハザードマップ等をまとめて製本する。

問 川波議員

琴電への支援負担金が、前年度より1476万円増。理由は。

答 政策課長

老朽車両の更新等に対して、国・県及び沿線市町とことでんで負担するもの。本町の負担割合は、沿線市町負担分のうち4・1%である。

問 安西議員

ふるさと納税業務の民間委託に9484万円を計上している。内容と、民間委託による省力化の効果は。

答 地域活性課長

返礼品代、配送料等も委託料に入っている。実績ある業者へ委託し、寄附金の増額を図る。職員は、リピーター獲得や移住定住促進などに注力できるようになる。

問 市原議員

集落支援員はどういう人で、対象地域は。

答 地域活性課長

集落支援員は地元をよく知っている人が担う。鹿庭、奥山、朝倉、小蓑地区を対象に兼任で業務を行ってもらう予定。

問 溝渚議員

戸籍のフリガナ記載が開始されるが、仕組みの説明を。

答 住民健康課長

フリガナの確認書類を郵送し、間違っている場合は、届出をしてもらう。一回に限り修正が可能である。

問 川波議員

地元管理墓地整備補助金100万円の詳細は。

答 住民健康課長

地元管理の町有墓地の用水路の整備など30万円以上の工事に対して半額補助、150万円を上限とする。

問 溝渚議員

SNSでの切り抜き動画や差別投稿の拡散などで、差別問題が拡大している。対策は。

答 人権推進課長

県下全市町で協力し、差別投稿を見つけたら削除要請を行っている。

問 友保議員

平井保育園の整備事業補助1億4757万円の内容は。

答 こども課長

園舎の建て替え補助で、令和8年完成予定。国2分の1、町4分の1の補助割合。

問 安西議員

令和10年度の実質公債費比率は10%前後、将来負担比率は50%前後となる見込みとの答弁があったが、これは町にとってどういう状況なのか。

答 政策課長

令和6年9月末の発表の県内他市町数値と照らし合わせると、公債費比率が県内でも上位に入る数値となり、厳しい財政状況になりつつある。

問 溝淵議員

飼い主のいない猫への手術費助成は、どのような状況を設定しているのか。

答 環境下水道課長

まず、町民が飼い主のいない猫を捕獲箱等で保護し、動物病院へ連れて行く。不妊去勢手術後に耳カットが済んだ

猫を保護した場所まで戻すまでが一連の流れ。最大1万円の補助で20頭分。

問 市原議員

虹の滝キャンプ場施設整備事業の今後のスケジュールは。



▲虹の滝キャンプ場

答 農林課長

工事全体を3か年で取り組む。令和7年度は滝周辺の整備及び水源確保、2年目にパンガローや炊事場周辺を整備し、テントサイトの充実を行

う。最終年は、駐車場周辺をオートキャンプ場として整備し、管理棟を改修予定。

問 岡議員

橋りょう等の老朽化対策は、国庫補助が多いのに、予算が約1千万円減少しているのはなぜか。

答 土木建設課長

令和7年度は厳しい財政状況を鑑みて、2判定の橋りょうの修繕は行わず、定期点検で新たに3判定となった津柳橋を優先する必要があることから、補修調査設計のみを行うため減額となった。

問 川波議員

学校の防犯カメラの設備工事は何台の予算か。

答 教育総務課長

町内4小学校に4台ずつ設置されている全てのカメラを更新。防犯上必要な場合は増設も考える。予算額は1校あたり200万円。

問 安西議員

学校給食センターの公有財産購入費やセンター維持管理等委託料（PFI）は、今後

答 教育総務課長

令和6年度にセンター完成後、令和7年度から令和21年度まで支払いが続く。

問 中川議員

学校施設長寿命化改修で、令和5年から11年に行う予定の耐力度調査と改修工事の計画はどのようなものか。

答 教育総務課長

長寿命化改修計画に基づいて進めていく。

しかし、小中学校屋内運動場の環境整備は、学校生活への対応と災害時における避難所対応の両面から緊急性は高く、長寿命化計画にとらわれない柔軟な対応が必要であると考える。

問 溝渕議員

図書館システムの改修によって、どう変わるのか。

答 生涯学習課長

スマートフォンによる利用

者カードのバーコード表示サービスとWebオペック書影表示サービスが行えるようになる。これにより、利便性の向上や業務の効率化、貸出増加、来館者の増加につながる。

こども園建設費めぐり討論

反対討論

学校施設改修が優先

【中川議員】

今後、普通建設事業を多く予定している中、新たなこども園の建設は、町財政を逼迫させる要因となる可能性が十分にある。町の貯金である財政調整基金やふれあいふるさと基金は、数年後、枯渇する可能性もある。

そのような中、こども園の建設に着手すると今後、財政難を理由に、小学校の長寿命化対策を見送るという決断を

取らざるをえなくなる。学校など建築物の老朽化は、進みだしたら人間の老化や病気と一緒に、一気に進行する。地震や強風で揺れただけで、クラックが大きくなり、最悪の場合倒壊のおそれがある。

町の財政状況が厳しい中ではあるが、とるべき優先順位が高い事業は、児童の生命の危機に繋がりがねない小学校の老朽化対策と考える。

また、本町のような小さい町で、町営のこども園を2園も作るのは、身の丈に合っていない。この大きく2点が、反対の理由である。

多様な施設のあり方を

【溝渕議員】

5つの園を統合し園舎を新築することは、多額の費用を要し、財政的負担が大きい。

既存の園舎を改修してこども園にしている事例もあり、地域とのかかわりを断つことなく、こども園化する方法をもっと検討すべき。子どもが少人数だからこそ、丁寧に向き合い、できることがある。

町の説明からは、子どもにどう育ってほしいのかが見えない。地域の均衡ある発展と多様な施設のあり方を再検討すべきと考える。

賛成討論

時代の要請に応える

【市原議員】

幼保一元化の認定こども園は、共働きが一般化した時代



▲統合される幼稚園

北部に保育所機能を持つ町立「ししの子幼稚園」があるが、南部に分散する5つの公立幼稚園・保育所の統合は、町内の保育・幼児教育の偏りの解消となる。

少子化が加速する中、公立認定こども園を利便性の高い町中心部に建設することは、「子育ての町」三木町を広くアピールし、若者の移住定住促進にもつながっていく。

先送りはコスト大

【岡 議員】

当初、執行部の説明では、鉄筋コンクリート造平屋建て十数億円かかると説明を受けていた。このままでは賛成はできないと思っていたが、執行部も検討を重ね縮小案を提示して、予算も半額程度になった。

昨今の物価上昇率から考えると、今後、建築費が下がる要素はなく、先送りすることでコストが増大することを考えると、集約し、イニシャル・ランニングコストを抑えて運営でき、なお且つ、財政措置が手厚い有利な起債があるうちに執行するべきである。



下水道事業会計

問 市原議員

営業費用 総係費 委託料において、経営戦略策定委託料を計上しているが、策定期間はいつ頃を見込んでいるのか。

答 環境下水道課長

経営戦略の策定は、令和7年度中の策定を予定している。

発議案第1号

三木町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

【提案理由説明】

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、「懲役」及び「禁錮」が廃止され、これらに代えて「拘禁刑」が創設されること、また、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に対応するため。

人事

教育委員会教育長

間嶋 浩氏の選任に同意した。



令和7年4月1日就任
1期目 大字平木（63歳）



請願・陳情のゆくえ

令和7年1月17日受付

市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情
伊藤 豪

令和7年1月17日受付

議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情
伊藤 豪

議員配付

定例会・臨時会 提出議案への各議員賛否表

○賛成 ●反対 一議長 欠(欠席)

議案番号・議案名		採決	鎌倉大祐	溝渕裕子	川波礼子	福家昭三	岡昌吾	友保陽子	安西進	中川和樹	森本晃司	市原信夫	鈴木宏明	小島重俊	富田修司	渡辺達実	筒井米市
第1回臨時会																	
議案第1号	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第2号	専決処分の承認(令和6年度三木町一般会計補正予算(第9号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
第1回定例会																	
議案第1号	三木町公告式条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第2号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第3号	三木町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第4号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第5号	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第6号	三木町消防団条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第7号	三木町使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第8号	三木町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第9号	三木町町道等の路面復旧に係る経費の負担金徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第10号	三木町犯罪被害者等支援条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第11号	井上すこやか公園の設置及び管理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第12号	令和6年度三木町一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第13号	令和6年度三木町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第14号	令和6年度三木町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第15号	令和6年度三木町介護予防サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第16号	令和6年度三木町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第17号	令和6年度三木町下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第18号	令和7年度三木町一般会計予算	可決	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	欠	欠	一	欠	○
議案第19号	令和7年度三木町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第20号	令和7年度三木町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第21号	令和7年度三木町介護予防サービス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第22号	令和7年度三木町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	●	○
議案第23号	令和7年度三木町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
議案第24号	教育委員会教育長の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○
発議案第1号	三木町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	一	○	○

富田修司	友保陽子	筒井米市	渡辺達実	小島重俊	鈴木宏明	市原信夫	森本晃司	中川和樹	安西進	岡昌吾	福家昭三	川波礼子	溝渕裕子	鎌倉大祐	議員氏名	第1回臨時会(2月)	第1回定例会(3月)
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2/4	○	○
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/5	○	○
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/7	○	○
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/10	○	○
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/12	○	○
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/17	○	○
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/18	○	○
○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/21	○	○

○は出席 ●は半欠 ×は欠席

議員出欠表

《本会議のみ》

第1回臨時会(2月)
第1回定例会(3月)

一般質問

ここが聞きたい!

町政を問う

7人が質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。



1人60分の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
詳しい内容については、インターネット中継をご覧ください。

質問者	質問事項	ページ
中川 和樹	1 本町の財政計画は	11
市原 信夫	1 団塊の世代の集団高齢化、支援体制は大丈夫か 2 自主防災組織へ町の支援を 3 町への移住定住促進策は	12
鎌倉 大祐	1 子ども同士では校区外へ外出できない。改善は 2 子ども体験格差 3 ストリートピアノの活用	13
川波 礼子	1 旧平井幼稚園井上分園跡地の進捗状況は 2 地域支え合い事業	14
渡辺 達実	1 新年度の重点事業は 2 同和対策事業・行政 3 教育行政の充実を求めて	15
溝渕 裕子	1 香害・化学物質過敏症対策は 2 こども園構想は 3 補聴器購入の公的補助は	16
友保 陽子	1 ふるさと思いやり寄附金を活用する事業の決定プロセスは 2 女性の健康支援 3 自主防災	17



中川 和樹議員

問 令和6年度の プライマリーバランスは

答 4年ぶりに赤字となる見込み

問 令和6年度の本町のプライマリーバランスは。

答 政策課長

令和6年度は、学校給食センターの建設に伴い、多額の地方債を借り入れるため、4年ぶりに赤字となる見込みである。

問 今後、相当額の建設費が見込まれる普通建設事業が立て続けに実施される計画であるが、近い将来の実質公債費比率と将来負担比率の予測は。

答 政策課長

学校給食センターの元金償還が始まる令和10年度には、実質公債費比率が10%前後、将来負担比率は50%前後となる見込みである。

問 今後、予定している普通建設事業と、近い将来、下水道事業が大きく悲鳴を上げると想定した場合、財政が完全に硬直化してしまう可能性があると思うが、どのように予

測しているのか。また、どのように改善していくべきだと考えているか。

答 政策課長

本町の財政状況はかつてないほどに厳しい状況に陥っていくと予測する。

今後は費用対効果を十分に検証し、真に必要な施設・事業にのみ、限られた行財政資源を投資していくつつ、身の丈に合った財政運営を行っていく必要がある。

問 財政調整基金、ふれあいふるさと基金は共に、令和5年度から徐々に減っている。近い将来枯渇するのではと危惧しているが、その対策は。

答 政策課長

新たな財源の確保や人件費の適正化、全ての事業を一から見直すなど、徹底した行財政改革を実施する必要がある。令和7年度は、これまで以上に、危機感と緊張感をもち、持続可能な財政運営をめざす。

問 今後の施設計画について、本町のめざすビジョンは。

答 総務課長

時代に即した公共施設マネジメントが遂行できるよう努めている。今後も、必要に応じて計画内容を精査する。

また、不断の見直しを実施し、将来のまちづくりに見合った公共施設の配置を実現する。

つぶやき

使うより

残す知恵こそ

子に贈ろう



問 団塊の世代の集団高齢化、支援体制は大丈夫か

答 ボランティア活動が、高齢者を支えている



市原 信夫 議員

つぶやき

どうなるの

老い先分からぬ

未知の道

問 今年は、団塊の世代が75歳以上になる。2025年問題、スタートの年といわれる。

高齢者の一人暮らし、認知症などの急増が懸念されるが、地域包括支援センターや介護予防サポーター養成など、支援体制は十分か。

答 福祉介護課長

本町でも65歳以上の高齢者の割合は、33・2%になっている。

見守り・傾聴ボランティア等の介護予防サポーターが増加し、地域で高齢者を支える力となっており、高齢者の社会参加の場にもなっている。住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの充実をめざしていく。

自主防災組織への支援を

問 南海トラフ地震の30年以内の発生確率は、今年1月の政府の発表で、80%程度に高まっている。

地域住民が参加する地区防災計画作成や簡易トイレなど非常時の備品の充実が求められているが、町の取組は。

答 総務課長

地区防災計画は、各自主防災組織が主体的に取り組む計画。計画策定に係る県の補助金



▲高齢者向け健康教室（さんさん会）

町への移住定住促進策は

問 地域産業の再生とコミュニティ強化には、若者の移住定住促進を図っていかなくてはならない。

町は、どのような施策を進めているのか。

答 地域活性課長

移住希望者に合った助成金などの支援制度活用、個別相談、SNSによる情報発信を行っている。

今後、一定期間三木町で生活してもらう短期滞在プログラム、先輩移住者との相談会など、三木町を身近に感じてもらう取組を実施していく。





鎌倉 大祐 議員

問 子ども同士では校区外へ外出できない。改善は

答 校長会等で十分検討する

問

小学校ごとに環境の違いがあり、子どもたちの体験機会に差が生じている。

例えば、平井校区には自由にボール遊びができる公園があるが、現状のルールでは子どもたちだけで校区外への外出は禁止されており、校区外から子どもたちだけの利用はできない。是正策は。

答

教育長

安全性の観点から子ども同士で校区外へ遊びに行かないように指導している。

しかし、他校区の状況を知り、活動場所を広げることは、児童の視野を広げ、社会性を育む体験となる。

児童の安全性を最優先に考えてつつも、その目的や児童の発達段階等も考慮し、教育的な機会を広げる視点からも校長会等で十分検討する。

つぶやき

子どもへの

投資が未来の

町作る

子どもの体験格差

問

近年、子どもたちの体験格差が広がっていると言われている。三木町の現状と取組は。

答

教育長

小中学校では、社会体験や異文化交流など、様々な体験活動を実施し、学校外でも発明クラブや料理・将棋教室、カヌーやヨットなど、多くのプログラムを実施している。しかし、家庭環境の変化等

子どもの「体験格差」問題

体験格差とは

旅行やならいごと、休日に友達と一緒に遊ぶなど、学校外で行われる体験機会に格差が生じること

影響は

- ・学習意欲
- ・努力や忍耐
- ・コミュニケーション能力
- ・共感力など

非認知能力

の成長に差が!!

ストリートピアノの活用

問

サンサン館みきに設置されているピアノを、ストリートピアノとして活用してみたい。

答

生涯学習課長

ピアノが設置されている同館1階のサン・カフェは、気軽にくつろげる静かな空間の場として活用しており、常時のピアノ一般開放は難しい。今後、気軽に生の音楽に触れることができる場になり、併せて普段からの利用者も同様に、くつろげる場となるよう活用方法を検討する。

により参加には偏りも見られている。また、保護者自身の体験不足や体験活動への意識の変化もあり、体験格差の連鎖が広がることが懸念されている。今後、体験学習を充実させ、子どもたちが自らの意志で参加できる環境を整えていく。



問 旧平井幼稚園井上分園跡地の進捗状況は

答 3月14日工事完了、
4月1日供用開始



川波 礼子 議員

問 旧平井幼稚園井上分園跡地の公園整備の完了は、今年度末となっているが、現在の進捗状況は。

答 生涯学習課長

3月14日に工事完了。公園の名称を「井上すこやか公園」とし、4月1日より供用開始となる。

問 防災機能を備えた公園となっているが、事前に訓練をするなど活用計画はあるのか。

答 総務課長

整備された公園の機能や役割を認識することは、必要不可欠である。訓練等の実施方法については、今後検討していく。

問 消防屯所を新たに同一敷地内に移転しているが、緊急車両が出動する際、危険と思われるが、どのように対応するのか。

答 総務課長

屯所から町道までの接続道路は、十分な幅員があり、危険性はないものと認識している。

消防団員に対し、注意して出動するよう周知指導の徹底を行う。



▲井上すこやか公園

つぶやき

公園は

老若男女

集う場所



地域支え合い事業

問 65歳以上の一人暮らし高齢者等を対象とした緊急通報装置設置事業の今後のあり方は。

答 福祉介護課長

本事業は、民間事業者による充実したサービスや財政的な面から、行政としての役割は終了したと考える。

今後は、地域包括支援センターの事業の拡充を図り、地域を見守る力の強化に努めていく。





渡辺 達実 議員

問 新年度の重点事業は

答 認定こども園の整備を行っていく



▲認定こども園建設予定地（新開地区）

問

平和憲法を守り、町民の命・くらしを守る防波堤として積極的な姿勢を求める。資源価格や人件費の高騰が町財政に深刻な影響を与えている。新年度に向けた重点事業を問う。

答

こども課長

三木町南部に幼児教育・保育の拠点となる就学前教育・保育施設として、認定こども園を整備していく。

北部のししの子幼稚園・保育所も認定こども園として再編し、町の責任においてしっかりと取り組んでいく。

答

総務課長

火災は住民一人ひとりが危険性を認識し、注意しておくことが重要である。

今後、も啓発活動に積極的に取り組む。

答

環境下水道課長

埼玉県八潮市で下水道管を起因とする陥没事故が発生した。町として異常が確認された場合、詳細な調査を実施し、状況を把握していく。

答

福祉介護課長

高齢者が心身の健康を維持しながら、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう様々な事業を展開していく。

答

教育総務課長

小学校屋内運動場の空調設備の整備は重要な課題である。児童生徒の健康確保・避難所としての役割も含め整備していく必要がある。専門的な調査を実施していく。

同和対策事業・行政

問

どのような現状か問う。

答

町長

人間の自由と平等に関するわが国固有の人権問題であり、日本国憲法によって保障された基本的人権に関わる課題である。第3次三木町人権・同和行政基本計画を基軸に、人権教育及び啓発に取り組んでいる。

教育行政の充実を求めて

問

新年度の重点方針をどのように考えているのか。

答

教育長

学校環境の整備として、三木中学校の屋内運動場に空調設備の整備をしていく。その他、不登校対策、特別支援教育の充実、GIGAスクール推進など4点を重点方針として掲げ取り組んでいく。



問 香害・化学物質過敏症 対策は

答 周囲への理解と配慮を 啓発する



溝渕 裕子 議員

問 こども園構想は公立幼稚園と保育所を一つにする計画。

こども園構想は

化学物質過敏症の症状は様々で、原因判断が難しい。国が作成している啓発ポスターの掲示や、保護者への周知啓発に努める。

答 教育総務課長

問 学校での対策は。新年度ごとに啓発チラシの配布等をする考えは。

答 住民健康課長

町への相談は確認されていないが、香りで困っている人がいることを情報発信する。

問 香害（こうがい）は、柔軟剤や香料等に含まれる化学物質に反応し、頭痛、吐き気、じん麻疹等を引き起こし、化学物質過敏症の一つとされている。

町に、香害の相談が寄せられたことはあるか。対策は。

答 こども課長

これまで地域住民は様々な形で子どもたちに関わってきた。閉園予定の地域住民への周知、説明を行う予定は。

問 広報やホームページだけでは不十分ではないか。直接、地域住民へ説明する機会は。

答 教育長

幼稚園には、評議員制度による地域からの意見を聞く機会もあることから、今後の要望等を聞いていきたい。

つぶやき

さみしさと
合理の波が
押し寄せる



補聴器購入の公的補助は

問 75歳以上の7割の人が加齢性難聴に該当している。聞こえにくさが進行し、会話を避けることで、認知症やうつ

の原因にもなる。補聴器を使うことで防げることもある。補聴器購入の補助は。

答 福祉介護課長

身体障害者手帳取得の基準を満たす可能性のある方には、取得手続きの支援等を行っている。その他の方への補助は実施していないが、国・県へ助成制度を要望する。





友保 陽子議員

問 ふるさと思いやり寄附金を 活用する事業の決定プロセスは

答 寄附金活用委員会の意見を 聞き、決定する

問 活用する事業の決定プロセスは。

答 政策課長

次年度の当初予算に向け、例年10月頃に各課に対し、活用したい事業の要望調査を行う。

その後、当初予算編成内で検討し、最終的には、三木町ふるさと思いやり寄附金活用委員会の意見を聞き、決定している。



▲令和5年度の活用事業の一例（教育環境整備事業）

つぶやき

財政難

ふるさと納税

大切に

女性の健康支援

問

女性は、生涯を通じてホルモンバランスが大きく変動し、その影響で心と体に大きな変化が生じる。各世代の特徴に応じた健康支援は。

また、相談窓口の体制は。

答 住民健康課長

各世代にまたがる健康支援事業は、20歳以上が対象の子宮頸がん検診、40歳以上が対象の乳がん検診、さらに新年度から40歳以上を対象に節目の年齢で骨粗しょう検診を再開する予定である。

相談窓口は、総合的な健康相談は住民健康課、子どもや妊産婦、子育て中の女性は主にこども課、高齢者は主に地域包括支援センターが所管し、

それぞれ保健師等の専門知識を持った職員を配置している。

自主防災

問

本町の危機管理係は人事異動により、数年で交代するなど、専門人材としての知識やスキルの蓄積には限界がある。危機管理専門職員の検討は。

答 総務課長

危機管理専門職員は、専門的な知識と本町の地域特性における具体的な知識を併せ持つ必要があるが、国家資格がないため、外部人材の選定は相当に困難である。

なお、本町の危機管理係は、一般行政職員を3名配置し、定期的に人事異動を行っている。

危機管理担当経験者が職員に増えることで、専門知識や経験を持つ職員を避難所に配置でき、的確な支援を行うことが可能になる利点もある。



委員会レポート

総務建設常任委員会

令和7年2月6日

移住・定住促進事業

本町の魅力を効果的に発信し、移住者や交流人口を増加させることを目的に実施。

主な取組

空き家バンク

- ・空き家情報の提供・登録を通じて移住を促進
- ・不動産事業者選定サポートや相談会実施
- ・2024年末時点で130件登録、120件契約成立（賃貸36件、売買84件）

移住者向け支援金

三木へきーまい助成金、東京圏UJイターン移住支援事

業、地方就職学生支援事業を実施し、リフォーム補助や家賃補助等で合計72人が支援を受けている。

教育民生常任委員会

令和7年2月4日

成年後見制度の取組

成年後見制度は、法定後見制度と任意後見制度の2つに分類される。

法定後見制度とは、認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断能力が不十分な者に対し、法的に権限を与えられた成年後見人や保佐人、また補助人が、福祉サービスの利用契約や適切な財産管理を行い、生活を保護したり、支援する制度である。

任意後見制度とは、将来の判断能力の低下に備えて、財産や身の回りについて、自分の意志で選んだ後見人候補者と任意契約を結ぶ制度である。主な取組としては、福祉介

護課、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の窓口での相談のほか、無料相談会や普及セミナー等を実施している。今後は、市民後見養成事業にも取り組んでいく。

白山文化センター施設整備事業

新開すこやかひろばの一部及び、隣接地の取得等を含めた用地を選定し、敷地面積約1100㎡として、基本設計を進めている。今後の予定として、令和7年度中に用地交渉と文化センター及び児童館の解体撤去工事、さらに実施設計を予定している。

また、建て替え工事中は事務所を教育集会所に移転し、令和9年度からの業務開始に向けて進めていく。

認定こども園整備計画

令和5年度に作成した基本設計書を基に、令和6年12月に実施設計業務を発注したが、就学前施設再編整備方針の策定から時間が経過していることや、児童数の大幅な減少、

物価・人件費の高騰などを理由に基本設計の内容を一部変更した。

変更内容は、定員を当初の200人から120人に、クラス数を11から9クラスに、延床面積を約2500㎡から約2150㎡に、さらに鉄筋コンクリート造平屋建てを鉄骨造平屋建てに変更する。

また、公共施設等適正管理推進事業債を活用する。

令和7年2月19日

認定こども園整備計画

本町の出生数は、平成31年は197人であったが、令和4年以降の出生数は、130人台を推移している。

問 川波委員

出生数が不透明な状況なら、一旦立ち止まって、もう少し様子をみるべきではないか。

答 こども課長

現段階で把握できる統計学上の推移に基づき、計画を進めている。

決算指摘事項

町長はこう答えた！



昨年12月定例会において、決算特別委員会が指摘した6項目の政策提言に対し、新年度予算での実施を含めた回答が示された。

公共施設整備と健全財政の維持

本町にとって、各種事業の貴重な自主財源である「ふるさと納税」の寄附金が、度重なる制度改正などの影響で、基金残高が大幅に落ち込んでいる。今年2月、豊富なノウハウをもつ中間業者を新規に委託、返礼品開発に取り組んでいる。

現在、幼保一元化の認定こども園建設を令和9年度開園をめざし進めている。

また、公共施設は、建築後30年を超える施設が全体の6割を占め、学校や公民館など多くの施設の改善・長寿命化

を計画的に進めていく必要がある。

こうした大型事業により、町の実質公債費比率は近年上昇傾向にあり、今後も上昇が見込まれることから、各種基金の有効活用、ワイズスペンディングの徹底を図るとともに、財政規律の堅持に努めていく。

子育て・教育環境の整備

核家族化と地域のつながりが希薄になり、子育て世代にとって、気軽に相談できる相手が身近におらず、助言や協力を得ることが困難な状況になっている。

町は、子どもに対する支援だけでなく、保護者に対する助言・指導を行う伴走型支援の充実に努めている。

児童虐待、不登校については、令和9年度までに「子ども家庭センター」を設置する一方、スクールソーシャルワーカーやカウンセラーの積極的な活用を進める。

高齢社会への対応

認知症や一人暮らしの高齢者が増加している。高齢者に対する各種見守り活動のほか、認知症初期集中支援チームの活動、認知症カフェの開催や家族、サポーターをつなぐ「チームオレンジ」の取組を進め、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域づくりをめざす。

危機管理体制の強化

手すり付きの非常用トイレを整備するなど、災害弱者に配慮した防災対策を行っている。

新年度は、自主防災組織の活動費用の一部を助成する補助制度を創設することにした。これまで以上に自主防災組織

の活発な活動を促していくことで、更なる地域防災力向上をめざす。

魅力ある地域づくり

地域おこし協力隊員の定住につなげるため、隊員として活動している者又は活動したことのある者が、町内で起業又は事業継承する場合の経費に対する支援や、定住を目的とした空き家の改修工事に対する支援を引き続き行う。

環境施策

令和6年に策定した「三木町環境基本計画」を着実に進めていくため、毎年度、三木町環境審議会を開催し、審議する。

本年度の審議会は1月に開催し、新年度の活動予定を報告。それに対し、児童を対象とした環境教育の充実、飼いのいない猫への対応、近い将来予測される太陽光パネルの廃棄問題などについて意見をいただいた。

元気なグループ紹介

「田中・高原自治会有志グループ」担当 古市 義秋

とんぼが峰 ミニ四国八十八か所清掃

田中の三つ子石池の近辺には、昔話や伝承で有名な「三ツ子岩、牛石、衣岩、ぜんわん岩」などがあります。その横には通称「とんぼが峰」という小高い山があり、山上にある円満寺に続く参道に「ミニ八十八か所」と言われる多くの石仏が点在しています。

昔、円満寺ではお祭りなども行われにぎやかでした。

しかし、住職が亡くなられてからお寺の維持が難しくなり、私の父が長年一人で管理をしてきました。しかし父も18年前に亡くなり、その後は次第に荒れ、雑木や竹等が生い茂り、人の入れない状態になってしまいました。

そのような中、一昨年3月、自治会の中から「円満寺周辺の清掃等をしてはどうか」という声があがりました。実施のために、現地確認し、作業内容などについて何度も話し合いを重ねました。作業の参加を呼びかけると、最初は6人の方が集まってくれました。

そして、昨年2月3日より作業を開始しましたが、倒木の撤去や倒れた石仏を起こすなど、極めて大変な作業でした。特に、大木の処理作業は、大型チェーンソーを使う重労働でした。各石仏の花筒を置き直し、ついに4月20

日、参道を開通することができました。やっときれいになり、全員で八十八か所の石仏へ花と水を供えました。

今後の作業は、3月～5月頃と11月～12月頃で実施予定です。

皆さん、三木町の文化遺産の岩々や、おもむきのある石仏様にぜひ会いに来てください。



脇 博文議員 急逝

1月16日、ご逝去されました。

脇 博文議員は、平成27年4月から町議会議員に連続3期当選されました。



脇 博文 議員
享年75歳

副議長を歴任されるなど、町政への功績をたたえるところに、安らかなご冥福を心よりお祈り申し上げます。

お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人です。

●お問い合わせは、議会事務局へ
☎087(891)3311

次の定例会は、6月上旬の予定です。

インターネット中継
サイトはこちら



編集を

終えて



久しぶりにスケート靴を履いた。懐かしい感覚が蘇る。少年時代に取り組んでいたショートトラックスは、温暖な地域からでも世界をめざせるウインタースポーツだが、全国のスケート場は、老朽化や維持費の高騰により、4分の1にまで減少した。

公共施設も同様に、老朽化が進んでいる。今後、三木町では多くの施設で長寿命化工事が控えており、維持・管理にかかるコストは増大していく。

地域にとって、本当に必要な施設とは何か、改めて考える時が来ているのではないだろうか。

(鎌倉 大祐)

議会だよりは私たちが編集しています。

編集委員長 市原 信夫
同 副委員長 川波 礼子
同 委員 中川 和樹
同 委員 友保 陽子
同 委員 岡 昌吾
同 委員 福家 昭三
同 委員 溝渕 裕子
同 委員 鎌倉 大祐